

会 議 録

会議の名称		令和 8 年度（2026 年度）第 1 回つくば市学校防災推進委員会		
開催日時		令和 8 年（2026 年）7 月 13 日（月曜日） 午後 3 時 30 分から午後 5 時 00 分まで		
開催場所		庁舎 2 階 防災会議室(2) (3)		
事務局（担当課）		教育総務課、学び推進課		
出席者	委員	森田充会長、久保田靖彦副会長、岡田太郎副会長、勝村英樹委員、森田信道委員、久松和則委員、永井英夫委員、菅谷和美委員、阿部久美委員、飯塚康弘委員、岸田和克子委員、前島吉亮委員、小林将明委員、大久保正巳委員、山岡めぐみ委員、中島澄枝委員、澤頭由紀子委員、石橋充委員 (欠席：村山えりか委員)		
	その他	国土技術政策総合研究所主任研究官 長屋和宏		
	事務局	教育総務課：課長補佐 小野村裕美 係長 鈴木淳 主査 谷沢潤一郎 主任 曾原実子 会計年度任用職員 服部佳音 学び推進課：指導主事 宮本聡		
公開・非公開の別		■公開 □非公開 □一部公開	傍聴席	0 名
非公開の場合はその理由				
議題		(1) つくば市学校防災推進委員会の概要及び事業計画について【資料 1・2】		

	(2) 各学園・学校における学校防災事業実施計画について【資料 3・4】 (3) つくば市学校防災事業の課題及び今後の対応について【資料 5】 (4) 令和 8 年台風第 6 号に係る対応状況について【資料 6】
会議次第	1 開 会 2 挨 拶 3 議 事 (1) つくば市学校防災推進委員会の概要及び事業計画について【資料 1・2】 (2) 各学園・学校における学校防災事業実施計画について【資料 3・4】 (3) つくば市学校防災事業の課題及び今後の対応について【資料 5】 (4) 令和 8 年台風第 6 号に係る対応状況について【資料 6】 4 閉 会

1 開会 事務局：本日はお忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。教育総務課の小野村と申します。本日の委員会は、つくば市附属機関の会議及び懇談会等の公開に関する条例に基づき、公開で行うとともに、会議録を作成し、後日、つくば市のホームページに掲載させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。 ただいまから、令和 8 年度第 1 回つくば市学校防災推進委員会を開会いたします。初めに、会長である教育長より御挨拶申し上げます。 2 挨拶 会長：本日は大変お忙しい中、つくば市学校防災推進委員会に御出席をいただきありがとうございます。本委員会は、児童生徒の防災対応能力の一層の向上及び学校における防災体制の強化を図ることを目的としています。
--

災害といえば、最近は規模の大きい地震や台風が頻発しており、心配な状況があります。その中で6月2日には、台風6号の影響で休校の措置がとられました。また、6月19日には、東京都北区の小学校で音楽の先生が私服を洗濯し、乾かしていたために、音楽室から火災が起きたという報道もありました。防災に対する市の体制として、日頃からの備えが非常に大事だと感じるとともに、学校も気を引き締めて、防火体制等もしっかりやらなければいけないと思っています。

本日の会議には、学校長を始め教育局の各課長、それから市長部局の関係各課、そして保護者の代表の方にも御出席いただいております。本日は本委員会の事業内容、学校ごとの事業設計について説明するほか、国土技術政策総合研究所の長屋様から、学校での出前レクチャーの事例紹介をいただきます。加えて、先日の台風6号に関する対応状況についても報告をさせていただきます。それぞれの立場から御意見をいただき、情報共有を図り、更なる連携の強化と学校防災の充実につなげていければと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議を通して、防災に対する意識を更に高め、学校防災の取組を一層推進していきたいと考えております。委員の皆様には、忌憚のない御意見を頂戴し、有意義な会議としたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局：ありがとうございました。続きまして次第の3 議事に移ります。ここからの進行は、委員会設置要項の規定により、会長である教育長にお願いします。

3 議事

会長：まず初めに、議事(1) つくば市学校防災推進委員会の概要及び事業計画について、事務局から説明をお願いします。

- (1) つくば市学校防災推進委員会の概要及び事業計画について【資料1・2】

(事務局から資料1及び資料2について説明)

会長：ありがとうございました。ただいまの説明に関して、御意見や質問などありますでしょうか。令和10年度で市内の小学校及び義務教育学校で学校防災手帳の製作が一回りします。吾妻小学校では毎年製作されていますが、全体的な感覚と吾妻小の取組を長屋様からお話しいただけますでしょうか。

長屋氏：事務局と相談しておりますが、そろそろ一周した後を考えないといけないと思っています。一周して終わりではなく、また二周目の製作に一周目と同じだけの時間をかけるのでもなく、これまでに製作してきたものをどう活用していくのかを考える必要があると思います。そこについて、御意見をいただきたいです。

会長：二周目をどうするか、学校の先生方の中で御意見はありますでしょうか。

菅谷委員：谷田部東中学校の菅谷です。私は昨年まで、吾妻学園で長屋様に大変お世話になり、学校防災手帳をリニューアルしました。地域も変化しますので、何年かに一度は見直す必要があります。その際に、子供たちの目がとても大切だと思いますので、何か書き加えたりするのもよいのではないかと考えております。

会長：ありがとうございます。岡田校長先生、何かアイデアありますか。

岡田委員：竹園東小学校の岡田です。防災手帳は、小学校だけでなく、中学校でも使えるものだと思います。また、この手帳を基に、つくばスタイル科の授業で毎年見直したり、特定の学年が毎年付け加えていたり、それぞれ学校が独自の子供の視点でのマップづくりをするのがよいのではないかと思います。防災手帳の製作に触れずに卒業してしまうことがないようにすることが大事だと思います。

会長：ありがとうございます。永井校長先生も伺ってもいいですか。

永井委員：学園の森義務教育学校では、学校防災手帳を現在の９年生が５年生の時に作っていただいたようです。９年生に今も持っているのかを聞いてみたところ、ランドセルからバッグに変わった段階で常備しなくなった生徒もいました。何年かに一度は、きちんとした形で配布するべきだと思います。また、小学校の３年生から６年生のつくばスタイル科でマップづくりをしているので、毎年必ずリニューアルできると思います。それらをいかしながら、短いスパンで製作できるといいと思いました。

会長：ありがとうございます。マップづくりは、小学校のつくばスタイル科で毎年必ずやっているところもあるので、それらのいかし方もあるかと思います。教育総務課では、今後について考えていることはありますか。

山岡委員：具体的に決まっていることはありませんが、現場の先生方の御意見もいただいたので、学び推進課とも協力しながら、今後どうすれば、これをいかしていけるのか、予算的に厳しい現状も踏まえて、継続していく方法を検討していきたいと思います。その中で、長屋様にも御意見等いただければと思っております。

会長：これだけしっかりしたものを作ると相当な労力などがかかりますので（【お金がかかる】の表現、残す必要あるのか？←【相当な労力などが】程度で良いのでは？）、毎年全校分という訳にはいきませんが、継続的に子供たちが意識できるような取組にしていくことは大事だと思います。ぜひ長屋様とも御相談しながら考えていきたいと思いますので、よろしく願います。

続いて議事の(2) 各学園・学校における学校防災事業実施計画について、事務局から説明をお願いします。

(2) 各学園・学校における学校防災事業実施計画について【資料３・４】

(事務局から資料3及び資料4について説明)

会長：ありがとうございました。ただいまの説明について質問や御意見などありましたらお願いします。

1 番の避難訓練について、ショート避難訓練が行われるようになってきて、本当に良かったと思います。今年の関東地区の教育長協議会で避難訓練について研究している先生から実際の訓練の映像を見せていただきました。掃除の時間の避難訓練では、地震のアナウンスが流れたら、掃除をしている子供たちが、掃除のために椅子を乗せて並べていた机の中から自分の机を探して、その下に潜っていたという実態がありました。それから、休み時間に地震が起こった想定 of 訓練では、グラウンドにいるのに教室に戻ってきて、自分の机の下に潜っていたという実態もありました。そのため、避難訓練の際、子供たちが何のための避難であるのか、よく考えられるように訓練を行っていないのではないかという意見がありました。子供たちが身を守るために自ら考える力を身に付けるという点で、ショート避難訓練は、すごく有効だと思います。

学校の先生に聞いてもよろしいでしょうか。避難訓練のマンネリ防止や子供に考えさせるためにどうするか、岡田校長先生からいかがですか。

岡田委員：つくば市は、教育大綱で「教えから学びへ」、「管理から自己決定へ」と書かれており、そこに全てが繋がっていると思います。先ほど、教育長がお話していた事例は、子供たちが教えられた避難方法を忠実に守っていたから起こったことだと思います。基本的に防災は、自ら考え判断し正しい行動をとるということが基本だと思うので、普段から避難訓練だけでなく、授業や特別活動などの全ての場面で自ら考え判断するということを育んでいくことがとても大事だと思います。そういった中で、教職員も自ら考えるというよりは、校長の指示を待つというところがまだまだ多いので、それらを改善していく必要があると思います。それから、避難訓練についても、昨年に準じてということで、毎年パターン化しているというのが現状です。そのため、教員も子供たちも、最初から昨年と同じような形という意識

が前提条件としてあるので、避難訓練の計画をする際に、イレギュラーな形を積極的に考えていくことが大事だと思っています。

会長：ありがとうございます。永井校長先生、いかがですか。

永井委員：本校は、小学生から中学生までかなりの人数が在籍しているため、1つ1つの訓練を行うのも大変ですが、大きい学校でもきちんとできるものをやろうということで、先生方と日々このような訓練もやっています。その中で、ショート避難訓練というのは、やはり重要だと思っています。先ほどの、岡田校長先生の話にもあったように、今の子供たちは、マニュアル通りに動くのは得意ですが、マニュアルにそぐわないようなことが起きた時にどう判断し、どう行動するのかという判断基準が分かっておらず、身を守るためにどうすべきかが分からない子が増えているような気がします。その中で、本校では、朝の会や帰りの会などの短い時間で、例えば、地震の翌日に「もし地震が起きた時にここにいたらどうする」とか、問いかけを担当からするというような工夫をしています。ただ、大規模な避難訓練も大事だと思うので、年度初めに基盤となる形を教えて、あとはショートの避難訓練を入れられるところで入れていく形がいいのかなと思っています。

会長：問題を投げかけるという工夫も大切ですね。菅谷校長先生、お願いします。

菅谷委員：今年、本校では3回の避難訓練を行い、そのうちの2回で課題が残りました。

一つ目は、火災を想定した避難訓練で子供たちがマニュアル通りに動いてしまった結果、出火した教室の真横を通過して避難していたというものです。本来であれば、4月の始業式が始まった段階で避難経路の確認に加えて、状況別での避難経路という基本を教えておくべきでした。

二つ目は、地震を想定した避難訓練で避難方法について教員間で議論になりました。訓練の直前に雨が降ってきたため、体育館への避難ということで引き渡しを行いました。実際に大雨が降っている時は、どう避難をするべ

きであるか、先ほど、長屋様にも相談させていただき、様々な想定をして、マニュアルを作る必要があったと反省しています。あわせて、教職員にも子供たちにも、マニュアル通りではなく、その場にあった行動をとる力も必要だと感じました。先日の東京都の学校火災でも、咄嗟に教員が窓から外に避難させたということがあったと思います。教員には、そういった行動の必要性について投げかけておりますが、子供たちにも必要だとつくづく感じています。

また、昨年、吾妻学園では、避難訓練の時に引き渡しカードとして、学校防災手帳を使いました。事前に、学校防災手帳を見直して、中を書き換えるという時間をとりました。きっかけがなければ見直しもできないため、避難訓練の時に中を再確認するだけでも有効活用できるかなと感じました。

会長：中学生でもなかなかその場にあった行動をとることができないということで、小学生だとより大変だと思います。阿部先生、幼稚園生の避難訓練で注意していることとか、工夫しているところはありませんか。

阿部委員：幼稚園でも、シェイクアウト訓練や上記以外の定期的な避難訓練等、毎月1、2回行っています。その中で、初めて避難訓練を体験する園児が怖がったり、泣いてしまったりということも想定しながらも、丁寧に怖くならないように身を守るための安全を意識して接しています。最初は、基礎的なところやポイントを教師間で相談して、それを子供たちに伝えていきます。避難訓練にも慣れてきたら、子供たちが自ら行動できるような伝え方を意識しています。例えば、戸外遊びの時や、トイレに行っている時など、先生がそばにいない状況を想定して、避難の合図があれば近くにいる先生の元に行く、物が落ちてきそうであればカエルやダンゴムシといった身を守るポーズをとるといったことを子供たちに分かりやすく伝えていきます。

また、先日の竜巻の訓練では、実際の竜巻の映像を見せるということを取り入れました。昨年度までの訓練では、窓のない部屋を想定して、皆で隠れて終わりだったのですが、今年は子供たちが怖くならないように職員で話しあった上で、竜巻の映像を見せて、狭いところに隠れる理由を伝えました。

会長：幼稚園生に分かりやすくというのは、なかなか難しいと思いますが、様々な想定をして、子供たちにも先生たちにもその場面を考えてもらうことは、重要だと思います。火事や地震という大きな分類だけだと、想定が足りないのではないかとお話を伺っていて感じました。

長屋様が避難訓練について、もう少しこんな工夫をしたらどうだろうという御意見はありますでしょうか。

長屋氏：避難訓練での行動の意味や理由を説明しなければ、先生方がおっしゃっていたように、教えられたことだけを頑なに守ればいいとなってしまいます。例えば、吾妻学園では、おやじの会が防災手帳の使い方の勉強講座を小学校1年生向けに行います。子供達は、一般的に地震が起きたら「机の下に入り机の脚を持つ」と教えられています。しかし、机の脚を持つことの意味は教えられていません。吾妻学園の講座では、机の脚を持つのは、机がなくなると危ないものから離れたことにならなくなるから、脚を持つ必要があるのだと教えます。つまり、基本は「危ないものからは離れる」とことと「ダンゴムシのポーズ」を同時にやっているということを繰り返し伝えていきます。また、避難の際に「机の下に入る」ということだけを忠実に守ると、体育館や音楽室で地震が起きた際に、グランドピアノの下に入ると答える子供がいます。しかし、グランドピアノはタイヤがついており、震度6クラスになると動いて、危ないものになります。「なぜ、その行動をしているのか」を正確に伝える必要があります。

会長：「なぜ」を教える、どう考えさせるかを学校でも、もう一度確認していく必要があると思います。ありがとうございました。

2番のつくばスタイル科もほとんどの学校ではやっていますが、やってない学校があるのが気になってしまいました。久松課長、これは全部の学校でやらなくてもよいものですか。

久松委員：基本、防災バッグは3年生から4年生で、防災マップは5年生から7年生の間に実施することになっています。今年度、実施予定のない学校では、毎年同じものにならないように工夫を凝らして、避難所設営を実施する

というような形になっている可能性もあるのではないかと思います。

会長：隔年で実施している可能性もあるかもしれないということですね。実態をよく掴んで、小学生、中学生で経験するべきことができていないということにはならないようにしたいです。各学校の実施状況等を確認しながら進めていければと思います。

3番は、教職員の研修や講話など、それぞれ工夫をしてやっていただいていると思います。

4番の PTA や地域の方、コミュニティ・スクールなどを活用しての取組は、徐々に増えてきていると感じます。澤頭課長、コミュニティ・スクールで何か目立った動きなどがありますか。

澤頭委員：最初は数校からの始まりでしたが、最近は多くの学校、学園で防災に関する取組がされていると感じます。やはり、防災というのは、地域がまとまりやすい議題なのだろうと感じています。これらをきっかけに、自主的に地域で何か新しい取組が始まり、継続していくところまで見守っていければと思います。

会長：吾妻が本当に長く続いて素晴らしい、実のあるものがより発展して継続していくというのは、すごく大事だと思います。

PTA から飯塚会長に出席いただいておりますが、防災の視点から、今後こうしたいたいとか、PTA やコミュニティ・スクールで話題になっていることなどはありますか。

飯塚委員：実は、今日の午前中に荃崎学園のコミュニティ・スクールの会議があり、荃崎第二小学校で10月に実施する予定の防災ウォークラリーの打合せを行いました。当学園のコミュニティ・スクールのテーマが「地域愛と防災」ということで、例えば、通学路の危険箇所を自分の目を見て、地域の方々とも一緒に歩いてみて、危険箇所はどこでどうして危険なのかを探りながら、地域の素晴らしいものについても知っていくというような防災ウォークラリーを開催しようと話し合いました。子供たちには、マニュアルも重要

ですが「自分の命は自分で守る」、生き抜く力が一番大切になってくると、今回様々なお話を伺って実感しているところです。

会長：ありがとうございます。早速、こういう活動が進んでいるということと子供たちも一緒にというところがすごく良いと思います。これからもそういう活動がどんどん増えてくれればいいなと思いました。

これまでの話を聞いて、危機管理課の岸田課長から、お気付きのことがありましたら、お願いします。

岸田委員：訓練に関しては、各学校で様々な御苦労があるのだと、お話を伺っていて改めて感じました。訓練は、子供たちの命を守るために行うというのが大前提だと思いますが、2つ柱があるのではないかと考えています。

まずは、子供たちが怪我をしないように身を守るということが1つ。それから学校の場合は、いかに安全に保護者に子供たちを引き渡すか、この引渡しがいかに円滑にできるかが重要なのではないかと考えています。これは、私の保護者としての大きな反省にもなりますが、子供が小学校1年生の時に東日本大震災が起きた当時、全く災害のことは考えていませんでした。そのため、引渡しのための準備もしていなかったため、夜になるまで子供を迎えに行けずに先生方には大変御迷惑をかけました。また、子供にも3月で寒い中、大変かわいそうな思いをさせてしまいました。菅谷先生からもお話がありましたが、学校防災手帳の中に、引渡しの時にどうするのかというページがあります。当時、ここに書かれているような行動を実践することができていればと反省しています。

また、学校にいる間だけではなく、放課後や塾にいるとき、部活やクラブチームの活動中に災害が起こる可能性もありますので、それらを踏まえて、家族がどこにいるのか把握しようというページがある訳です。こういったものを日頃から家庭で活用し、引渡し訓練の時に改めて見直してみるとか、訓練で実際に活用してみるとか、そういった取組で引渡し訓練のスムーズさも変わってくるのかなと思いました。

毎年これを各学校で作り変えて、印刷するのは大変だと思いますが、ホームページには載っていると思いますので、必ずそれを確認していただきたい

です。例えば、家庭でプリントアウトしていただいたりして、毎年新しい内容に書き換えるとか、やれることはあるのかなと思っています。素晴らしいツールがあるので、ぜひ訓練とセットで活用いただけるといいのかなと思いました。

会長：大事な視点だと思います。子供たちだけでは意味がなく、保護者と子供の共通理解、約束事がすごく大事な部分です。

続いて議事の(3) つくば市学校防災事業の課題及び今後の対応について、事務局から説明をお願いします。

(3) つくば市学校防災事業の課題及び今後の対応について【資料5】

(事務局から資料5について説明)

会長：ありがとうございます。長屋様からの事例紹介をいただく前に、今後の対応というところで何か御意見などありましたら伺いしたいと思います、いかがでしょうか。

それでは、長屋様から、事例紹介をお願いします。

長屋氏：つくばスタイル科の授業として、市内で年間40校ほど御依頼をいただくので、その取組をいくつか紹介したいと思います。つくばスタイル科では、3年から4年で防災バッグ、5年から6年で防災マップ、そして中学校1年生から2年生で、災害時の私達の役割の3つの単元が構成されています。どの学校でも最初に「月に地震があるか」という話をしています。そもそも災害とは、「私たちが困るかどうか」で決まるものであり、地震、台風、津波は、災害を起こす原因です。それらが起きた時に、困らないように準備をするのが防災であるため、授業を通して子供たちが勉強をすることで、災害は減らせるということや子供たちに自分も災害を減らす側の一員であると認識してもらいます。

小学3、4年生の防災バッグをつくる単元では、首都直下地震の情報からどんなものがよいか、何に困るかの説明をします。3年生にも、自分事とし

て捉えていただくために、遠足に行ったときのお話をしています。遠足の荷物は、基本的に学校の先生がいつもと違うところに行ったときに何に困るかを考えてそれを持っていきますが、これは防災バッグ作りでも同じだと伝えていきます。

事例紹介からは離れますが、吾妻学園では、毎年防災キャンプをやっています。近くに 100 円ショップがあるので、子供たちに 330 円を持たせて、防災バッグの中に入れるものを何でもいいので買ってきてくださいという取組を実施しています。この時、同行している保護者の方には、基本的には子供たちが選ぶものを駄目と言わないでください、その代わり、災害の時にどう使うのか聞いてくださいとお願いしています。答えられる限りは、駄目は言わないでくださいというお願いをされていて、それぞれで必要なものを 330 円分買ってきてもらい、子供たちに披露してもらいます。

小学 5、6 年生の防災マップの単元では、マップ上に必要なものを認識してもらうために、3 匹の子豚の話をします。多くの場合、災害の時に危ないものは何か、地震が起こったときに自分にぶつかったら危ないものが何かとか、水に浸かってしまう場所はどこかと考えます。それらも大切ですが、その後に、手に入らず困ると予想できる、お水や食べ物、トイレは、どこで手に入れるのか、どこで解決できるのかという視点も必要だとお話しして、子供たちに街探検に出かけてもらいたいと思っています。例えば、コンビニエンスストアに行けば、物を買うだけではなくてトイレも使えるとか、自動販売機も災害救援ベンダーといった機能を持った自動販売機の話をして、いろいろな発見をしてもらいます。

マップの観点では、秀峰筑波が先駆的な取組をしているので、紹介したいと思います。秀峰筑波の校舎は、桜川が溢れると浸水域の中に入りますので、学校の先生から避難計画を作るような勉強をしたいと相談いただきました。国土交通省が製作している「逃げキッド」というタイムラインを自分で作ることが勉強できるツールを使い、自分の家がハザードマップを見た上でどのぐらいの浸水になる可能性があるのかとか、自分の家の中には逃げ際に時間かかる人がいるのかを考えていただいて、最終的にこのマイ・タイムラインを作るということをしています。

中学 1 年生 2 年生としては、災害時に私たちにできることはという単元に

なっていますが、多くの学校では避難所がどういうものを学び、自分たちは何ができるのかをグループワークで考えています。具体的には、学校の教室配置図を用いて、子供たちが避難所を作るときにどういう部屋がどの場所で必要になってくるのかというようなことを考えています。また、それを考える中では、実際に避難所を運営すると想定し、時系列ごとに様々なミッションを与えて、解決方法を考えてもらいます。災害時はどんな様相になって、自分たちには何ができるのかを考えていただくような、単元のお手伝いをしています。

最後に、吾妻小学校では、先ほど御紹介したように、1年生のときに授業のお手伝いをさせていただきますが、その目的は、学校防災手帳を認識していただくことにあります。1年生の7月の授業参観では、ほとんどの保護者が参加するので、そこで学校防災手帳の存在と製作の目的、使用方法もお話しながら、マップ面で自分の家の場所や通学路を子供と一緒に書いていただきます。もしものときはどうするのかをお家で話し合うようにお願いしています。

いずれも災害時が自分事となること、自分の範疇で解決ができるように、様々なお話を差し上げて、自分で考えていただくことのお手伝いをしています。

会長：大変ありがとうございました。長年、関わっていただいて、本当にありがたい限りですが、「自分事に」という最後のキーワードがすごく大事なのかなと思いました。せっかくの機会ですので、長屋様にお伺いしたいことなどありましたら、いかがでしょうか。

長屋様、吾妻学園で長年お手伝いいただいて、変化として感じることなどありましたらお聞かせいただければと思います。

長屋氏：吾妻学園がという訳ではありませんが、私も東日本大震災から防災教育に関わるようになり、15年くらいになります。大きく変わったと思うのは、子供の知識量です。以前は、震度とマグニチュードの違いに関する質問をたびたびされていました。現在は、この質問をする子供はほとんどいません。また、1月17日は何の日かを尋ねるとほとんどの子供たちは「兵庫

県南部地震が発生した日」と答えられます。兵庫県南部地震は、子供たちが生まれる 20 年以上前の話になるので、私たちの感覚からすると伊勢湾台風の上陸日を聞かれて答えられないといけないレベルです。それくらい子供たちの防災に関する知識は多くて、かなり勉強していると実感しています。

会長：ありがとうございます。これまで学校や家庭で一生懸命、災害について話題にしてきたことが、少しずつ身になってきているということだと思います。本当にありがとうございました。

それでは、時間も大分迫ってきましたので、続いて議事の(4)に入らせていただきます。

(4) 令和 8 年台風第 6 号に係る対応状況について【資料 6】

(事務局から資料 6 について説明)

会長：できるだけ速やかにということで休校の判断、通知を進めましたが、最終的に前日の正午までにというところで、12 時 27 分には通知文を送付できました。

学校としては、いかがでしたでしょうか。

岡田委員：久松課長からも事前に連絡をいただき、休校になるかもしれないという話を伺っていたので、混乱はなかったと感じております。前日のお昼に保護者の方に伝達できたということは、スケジュール的には非常によかったのかなと思っています。今後も同じようにやっていただくとすごくありがたいです。

ただし、不明な点が 1 点だけあります。今回は、台風でしたので、つくば市でも全校一斉休校措置がとられるかなと思っていましたが、例えば、雪など地域差がある場合の休校は、学校で判断をしてよいのでしょうか。学校判断で休校すると、給食センターとの兼ね合いもありますが、この点についてはいかがでしょうか。

会長：久松課長、いかがですか。

久松委員：つくば市内では、これまでに雪で休校ということはほとんどありませんでした。基本的には、2時間遅れといった対応で、それぞれの学園で判断してもらい、更に遅らせるのかどうかという判断をお願いしています。休校の場合には、前日のお昼までに、それ以外の2時間遅れ等の場合には、もう少し様子を見させていただいて対応をお願いするような形になるかなと思います。

会長：児童生徒の安全が第一ですから、給食云々よりは、地域差があった場合には、学校で判断いただくという形でいいのではないかと思います。今回の台風の件で、保護者から学校に意見などはありましたか。

永井委員：本校は保護者も多いため、たくさんの御意見をいただくかと身構えましたが、そういったことはなく、「いつ判断されますか」という問合せが6件でした。朝の段階で2、3件あって、あとは正午を過ぎてから何件かありました。保護者としても、前日の正午くらいには大体決定するのではないかなという感覚なのではないかなと思います。その中で少しだけ時間が遅れたので、もう少し早ければより良かったかなと思いますが、今回の対応でも特段苦情のようなものはありませんでした。

久松委員：やはり低学年の子供たちは、5時間で帰る場合、14時半には下校してしまいます。そのため、お昼ちょうどだと遅いという感覚も学校にはあるかなと思いますので、なるべく早めに対応していきたいなと思います。

会長：今回話題になったのが、スクリレと学校緊急メールの2つがあるので、完全に連絡が行き届くのだろうかという心配がありました。菅谷先生、使い分けや棲み分けはどのようになっていますか。

菅谷委員：今回に関しては、スクリレを基本にして連絡しました。前任校の吾妻学園では、外国籍の御家庭も多かったので、配慮が必要な家庭やスクリレ

を登録していない家庭に関しては、直接電話をするなどして対応していました。

会長：幼稚園では、保護者への伝達はどのように行っていますか。

阿部委員：幼稚園でもスクリレ又は緊急メール配信を行いますが、PTA の連絡網的なインラインと両方でお知らせしています。また、外国のお子さんに関しては、同じく支援をしています。電話や通訳的な第三者から、休園ということ間違えないように伝えています。

会長：電話連絡となると、大変ですね。もう少し早く通知できればという反省はありますが、前日の正午までに連絡できれば、各学校でも対応いただけるという感じでしょうか。何か他に気になる点などありますでしょうか。

菅谷委員：地震は基本的に震度 5 弱で引渡しになると思いますが、それは震度 5 弱以上の地震が発生したら、特に教育委員会からの指示を待たずに引渡しの連絡を始めていいのでしょうか。本校では、その部分が正確には保護者に伝達されておらず、今年は正確に伝達しようということで確認したいです。

会長：久松課長、いかがですか。

久松委員：基本的に 5 弱以上の地震が発生したら引渡しとなっていますので、学校に被害があるかないかということに関係なく、引渡しすることになります。そのため、保護者にその旨を伝えていただいても構いません。しかし、震度の情報も後から訂正される可能性があるので、それを想定しながら保護者にスクリレで連絡していただきたいと思います。引渡しになる基準の震度が 5 弱であるということは、伝えていただければと思います。

会長：保護者に十分理解されてない可能性もあるということですかね。それについては、各学校にお任せしていいのですかね。どうでしょう。

菅谷委員：校長会でいただいた4月1日付の資料では、市で統一という認識で
おります。しかし、保護者への周知は、学校によって差があるようで、本校
では明確になっておりませんでした。毎年、特に7年生には、早めに通知を
した方がいいのか伺いたいです。

久松委員：基本的に4月に校長会で通知した内容を保護者にお渡しいただい
て大丈夫です。市の対応がこうなっているので、学校では次のように対応し
ますというような形でお伝えしていただければと思います。しかし、状況に
よって、地域差もあるかと思います。そのため、最初に4月に教育総務課か
ら出ているものを保護者にもお渡ししてもらい、災害時にはスクリレでも
配信という形がいいと思います。

会長：年度ごとに必ずやっていただくのが安心でしょう。今後は、お願いした
いと思います。岸田課長、今の話を聞きながら、何か気になることとかあり
ましたらお願いできればと思います。

岸田委員：今、先生方からも学校で意外と保護者の方々に浸透していないとい
うのがありましたが、そこは重要なポイントだと思います。「5弱になった
ら迎えに行く」という認識があれば、おそらく自然発生的にお迎えに行く
という流れはできるのかなと思います。学校にはお手数になってしまうかと
は存じますが、毎年度初めに通知をし直した方がよいと思います。

会長：そうですね。もし通知をしていない学校があれば、今年のうちに通知
をしてもらうように、早い時期から促した方がいいと思いますので、確認を
お願いします。他に何かありますでしょうか。

長屋氏：今のお話を伺っていて、スクリレの効果がすごく大きいと感じまし
た。スクリレがなかった時期とは異なり、例えば、職場にいる間に翌日の休
校が把握できるため、仕事の調整をつけられます。そういった意味で、今回
の対応は、うまくいった事例としてもっと評価されるべきだと思います。実

際には、今回の台風は、少し風が強かった程度で、人によっては休校しなくてもよかったのではと思った方がいらっしまったかもしれません。しかし、決めたことを決めた通りに行い、混乱を招かなかったことについては、もっと評価をされるべきだと思います。

なお、先ほど話題になった震度5弱で引渡しになる件や、台風来襲時の周知の流れなどについては、学校が保護者へ伝える通知のひな型を教育委員会で作成し、改めて周知を図ってもよいのではないかと思います。

会長：そのように進めていいきたいと思います。他に何か全体的に御意見等ありましたらお願いします。

小林委員：こども育成課です。今回の台風6号の際も、こども育成課で所管している児童館を朝から開けるということで、学校の休校通知にも入れていただきました。今までも、休校や登校時間が遅れる場合は、早めに児童館を開けていましたが、積極的に周知すると、台風で危険な状況の中、来てくださいと言っているような印象にも取られかねないということで、積極的に保護者の方向けに周知は行っておりませんでした。しかし、今回初めて通知に入れたこともありまして、相談の多かった児童館では、前日に60件ぐらい問合せがありました。問合せには、本当に自宅で保育に当たれない場合はお預かりしますよというような説明をさせていただき、実際の利用者は10名程度でした。今後も臨時休校等の場合に、児童館は開館しているという周知をしていくとなると、こういった基準になれば児童館にお迎えに来ていただくかなどについて、児童館や児童クラブでも検討が必要になってくると思います。危機管理課や教育局にも相談させていただき、こちらの基準も決まったものは保護者の方に事前に周知をしていくとスムーズかというお話がありましたので、一緒に考えさせていただければとぜひ御協力をお願いします。

会長：そうですね。安全のために休校にしているのに安易に預けますというのも違うと思いますね。一方で、どうしてもお家にいられないのでお願いしたいという方もいるだろうし、周知していいのか、その辺が非常に悩ましいと

ころだと思います。今回の対応で課題が見つかりましたので、関係各課で相談して事前に調整ができればと思います。これについて、危機管理課としてはいかがでしょうか。

岸田委員：非常に難しいところではあると思います。休校の措置が取られるほどの台風や大雨といった天候状況であっても、出勤しなければならないお仕事がある保護者もいらっしゃると思います。しかし、休校になるのは、その時間に外に出るのが危ないからであって、子供だけでなく大人も含めて、外出を控えていただきたいです。こういった災害は頻繁に起こることでありませので、本当に家で子供と一緒にいることができないのかは、真摯に考えていただきたいです。それでもどうしても難しい場合は、受入れが可能な児童館に預けるということはあるかと思います。

会長：大変大切な視点だと思います。他には何かありますでしょうか。

それでは、本日の議事は以上となります。皆様、御協力ありがとうございました。本日の御意見や御提案をいかして、学校にも共有しながら今後進めていきたいと思います。

それでは、議長の職を解かせていただきまして、事務局にお返しいたします。

4 閉会

事務局：以上をもちまして、令和8年度第1回つくば市学校防災推進委員会を閉会いたします。本日はありがとうございました。

令和8年度(2026年度)第1回つくば市学校防災推進委員会 次第

日 時：令和8年(2026年)7月13日(月)

午後3時30分から午後5時まで

場 所：つくば市役所本庁舎2階 防災会議室(2)(3)

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

- (1) つくば市学校防災推進委員会の概要及び事業計画について【資料1・2】
- (2) 各学園・学校における学校防災事業実施計画について【資料3・4】
- (3) つくば市学校防災事業の課題及び今後の対応について【資料5】
- (4) 令和8年台風第6号に係る対応状況について【資料6】

4 その他

5 閉 会

配布資料

資料番号	資料名
資料1	つくば市学校防災推進委員会設置要項
資料2	つくば市学校防災推進委員会の概要及び事業計画について
資料3	各学園・学校における学校防災事業実施計画について
資料4	各学園・学校における学校防災事業実施計画一覧
資料5	つくば市学校防災事業の課題及び今後の対応について
資料6	令和8年台風第6号における休園・休校等措置までの流れ

令和8年度(2026年度)つくば市学校防災推進委員会 委員名簿

No.	役職	所属等	氏名
1	会長	つくば市教育長	森田 充
2	副会長	つくば市教育局長	久保田 靖彦
3	副会長	つくば市学校長会長	岡田 太郎
4	委員	つくば市教育局次長兼教育施設課長	勝村 英樹
5	委員	つくば市教育局次長兼学務課長	森田 信道
6	委員	つくば市教育局学校教育審議監兼学び推進課長	久松 和則
7	委員	つくば市学校長会 小学校部会長	永井 英夫
8	委員	つくば市学校長会 中学校部会長	菅谷 和美
9	委員	つくば市幼稚園長会長	阿部 久美
10	委員	つくば市 PTA 等連絡協議会長	飯塚 康弘
11	委員	つくば市市長公室危機管理課長	岸田 和克子
12	委員	つくば市市民部市民協働課長	前島 吉亮
13	委員	つくば市こども・保健部こども育成課長	小林 将明
14	委員	つくば市消防本部地域消防課長	大久保 正巳
15	委員	つくば市教育局教育総務課長	山岡 めぐみ
16	委員	つくば市教育局健康教育課長	村山 えりか
17	委員	つくば市教育局特別支援教育推進室長	中島 澄枝
18	委員	つくば市教育局生涯学習課推進課長	澤頭 由紀子
19	委員	つくば市教育局文化財課長	石橋 充
20	有識者	国土技術政策総合研究所	長屋 和宏

つくば市学校防災推進委員会設置要項

(設置)

第1条 大規模地震等の災害に対する児童等の防災対応能力の向上及び学校の防災体制の充実を適切かつ効果的に推進するため「つくば市学校防災推進委員会」(以下「推進委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 推進委員会は、次の各号に掲げる事項を協議する。

(1) 学校防災推進のために必要な次に掲げる施策等の連絡・調整に関すること。

ア 学校の防災教育の充実

イ 地域と連携した防災教育の展開

ウ 学校の防災体制の整備・充実

エ 避難所運営等に係る学校、地域と防災担当部局との連携強化

(2) その他会長が必要と認める事項に関すること。

(組織及び運営)

第3条 推進委員会は、教育長を会長、教育局長及びつくば市学校長会長を副会長とし、別表1に掲げる職にある者を委員として構成する。

2 会長は、必要に応じ推進委員会を招集し、会議の議長となる。

3 会長に事故あるとき又は欠けたときは、副会長がその職務を代理する。

4 会長は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(ワーキングチーム)

第4条 推進委員会の所掌事項に関する事項について調査検討をさせるため、推進委員会のもとに「つくば市学校防災ワーキングチーム」(以下「ワーキングチーム」という。)を置くことができる。

2 ワーキングチームは、次長(教育総務課担当)をリーダー、教育総務課長及び

学び推進課長をサブリーダーとし、別表2に掲げる職にある者をメンバーとして構成する。

3 リーダーは、必要に応じワーキングチームを招集し、会議の議長となる。

4 リーダーに事故あるとき又は欠けたときは、サブリーダーがその職務を代理する。

5 リーダーは、必要があると認めたときは、メンバー以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

6 リーダーは、ワーキングチームにおける調査検討が終了したとき又は会長から求められたときは、調査検討の結果又は必要な事項を会長に報告しなければならない。

(庶務)

第5条 推進委員会及びワーキングチームの庶務は、教育総務課及び学び推進課において処理する。

(委任)

第6条 この要項に定めるもののほか、推進委員会の運営に関して必要な事項は、会長が定める。

附 則

この要項は、平成24年7月17日から施行する。

附 則

この要項は、平成27年5月12日から施行する。

附 則

この要項は、平成28年6月13日から施行する。

附 則

この要項は、平成29年5月22日から施行する。

附 則

この要項は、平成 30 年 5 月 14 日から施行する。

附 則

この要項は、令和元年 6 月 6 日から施行する。

附 則

この要項は、令和 4 年 6 月 3 日から施行する。

附 則

この要項は、令和 7 年 6 月 1 日から施行する。

附 則

この要項は、令和 8 年 6 月 1 日から施行する。

(別表 1)

つくば市学校防災推進委員会

会長	教育長
副会長	教育局長、つくば市学校長会長
委員	・教育局 教育総務課担当次長、教育総務課長、学び推進課長、学務課長、教育施設課長、健康教育課長、特別支援教育推進室長、生涯学習推進課長、文化財課長 ・つくば市学校長会小学校部会長、中学校部会長 ・つくば市幼稚園長会長 ・つくば市 P T A 等連絡協議会会長 ・市長公室危機管理課長 ・市民部市民協働課長 ・消防本部地域消防課長 ・こども・保健部こども育成課長

(別表 2)

つくば市学校防災ワーキングチーム

リーダー	教育局次長（教育総務課担当）
サブ リーダー	教育総務課長、学び推進課長
メンバー	・ 教育局企画監 ・ 教育局 教育総務課、学び推進課、学務課、教育施設課、健康教育課、特別 支援教育推進室、生涯学習推進課および文化財課の職員 ・ 市長公室危機管理課の職員 ・ 市民部市民協働課の職員 ・ 消防本部地域消防課の職員 ・ こども・保健部こども育成課の職員

つくば市学校防災推進委員会の概要及び事業計画について

1 目 的

大規模地震等の災害に対する児童生徒の防災対応能力の向上及び学校の防災体制を充実させるため、学校と地域の連携を推進し、防災力の強化を図る。

2 令和8年度事業計画

(1) 学校防災推進委員会の開催（年2回開催予定）

第1回（7/13開催） 学校防災事業実施計画について

第2回（2月頃開催予定）学校防災事業実績報告について

(2) 学校防災研修会の開催（秋頃に開催予定）

教職員・地域の方々を対象とした研修会を開催

（参考）令和7年度(2025年度)実績

開催日：令和7年(2025年)12月2日（火）15:30～16:30（オンライン開催）

講 師：国立研究開発法人防災科学技術研究所 李泰榮 様、清水慎吾 様

内 容：(1) 地域の災害リスクを学ぶーICT学習ツールの活用ー

(2) 風水害に備えた学校の危機管理を考える

ー豪雨災害に備えた児童生徒の引き渡し判断等についてー

(3) ICTツールを活用した防災教育の実践

ー防災教育プログラム「YOU@RISK」の実践事例ー

参加者：つくば市学校防災推進委員及び各学校関係者（教職員及び保護者等）

100名程度

(3) 学校防災手帳の作成

今年度は九重小学校、真瀬小学校、手代木南小学校で作成予定

※詳細は裏面参照

つくば市学校防災手帳の製作について

●学校防災手帳とは

児童生徒及び保護者のための防災冊子で、記事面と防災マップ面から成っている手帳のこと。手帳を通じて児童生徒を災害や事故から守ることを考え、児童生徒及び保護者が常に携帯し、状況に応じた対応を促すことを目的としている。

・記事面（表面）

児童生徒に読んで欲しい事項、保護者等に読んで欲しい事項を整理して記載している。それぞれの記載内容は、近年の災害状況等を踏まえた学校教職員や保護者の意見、つくば市危機管理課及び専門家のアドバイスを受けて、随時更新する。

・防災マップ面（裏面）

以下の情報を重ね合わせたマップを記載している。

- ① 行政機関（つくば市危機管理課）等が公表する防災情報（ハザード、防災施設等）
- ② 学校、PTA 及び地域が保有している情報（110 番の家等）
- ③ つくばスタイル科等の防災授業で児童が作成した防災マップの情報（ブロック塀等の倒壊危険箇所や災害時に活用可能な施設等）

※児童が調べた情報をマップに掲載することで、愛着を持ってもらい、ランドセル等に入れて常時携帯する防災コンテンツになることを目指している。

●制作について

1 制作の体制

教育総務課が事務局となり、各種調整・取りまとめを行う。

防災マップ面に掲載する情報については、上記①は事務局が関係機関（部署）より収集、②は各学校より提供、③は防災単元の成果を集約し、事務局で取りまとめを行う。

なお、防災単元授業の実施、児童が作成した防災マップの情報精査等にあたっては、専門家（国総研）による支援も実施する。

2 各学校の作成状況

令和8年度は「九重小学校」、「真瀬小学校」「手代木南小学校」で作成予定

作成年	学校名	作成年	学校名	作成年	学校名	作成年	学校名
H30	葛城小学校	R3	桜南小学校	R5	二の宮小学校	R8	九重小学校
H30	大曽根小学校	R3	並木小学校	R5	秀峰筑波義務教育学校	R8	真瀬小学校
H30	春日学園義務教育学校	R3	谷田部小学校	R5	茎崎第一小学校	R8	手代木南小学校
R1	栄小学校	R3	沼崎小学校	(R5)	(高崎中学校)	R9	今鹿島小学校
R1	竹園東小学校	R4	栗原小学校	R6	島名小学校	R9	要小学校
R1	茎崎第二小学校	R4	柳橋小学校	R6	小野川小学校	R9	松代小学校
R1	茎崎第三小学校	R4	前野小学校	R6	吉沼小学校	R10	みどりの南小学校
R2	上郷小学校	R4	学園の森義務教育学校	R7	谷田部南小学校	R10	みどりの学園義務教育学校
R2	竹園西小学校			R7	香取台小学校	R10	さくら小学校
R2	東小学校			R7	研究学園小学校	(毎年)	(吾妻小学校)

各学園・学校における学校防災事業実施計画について

1 避難訓練

項目	内容	R8 実施予定校数
学園合同引渡し訓練	学園単位で実施する災害や緊急時等に子どもを保護者に引き渡すための訓練	46 校/51 校
ショート避難訓練 (シェイクアウト訓練)	学校管理下における様々な時間帯で、地震発生等の緊急時に対して身を守る行動（危ないものから離れる、その場にしゃがむ）を自ら考えて取る力を重点的に身につける訓練	46 校/51 校
上記以外の定例的な避難訓練	各学校で実施する地震や火災、不審者を想定した定例的に行っている訓練	45 校/51 校

2 つくばスタイル科など授業・学校活動での取組

項目	内容	R8 実施予定校数
つくばスタイル科 防災バッグの作成	非常時に持ち出しする用品のマイ防災バッグを作成する。 【対象 3-4 年生】	小学校 27 校/33 校 中学校 1 校/14 校 義務教育学校 3 校/4 校
つくばスタイル科 防災マップの作成	自分たちが住んでいる地域を歩き、災害時を想定した地域の防災マップを作成する。【対象 5-7 年生】	小学校 27 校/33 校 中学校 9 校/14 校 義務教育学校 4 校/4 校
つくばスタイル科 講話等の聴講	専門家（外部講師）等による防災に関する講話等	24 校/51 校
その他	マイタイムライン作成、避難所づくり、防災かるた等	18 校/51 校

3 教職員研修・講話など

項目	内容	R8 実施予定校数
つくば市学校防災研修会の参加	研究者等の外部講師による学校の防災力強化推進に向けたオンライン研修会	20 校/51 校
防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く）	研究者やつくば市危機管理課の職員等の専門家（外部講師）による研修、教頭等による職員研修等	11 校/51 校
救急救命講習	養護教諭やつくば市消防署職員、日本赤十字社職員等による講習	49 校/51 校
警察署等の防犯講習	つくば警察署職員による講話、さすまたの使用方法、不審者シミュレーション等	28 校/51 校

4 その他 PTA・地域の方々を対象とした取組み

学校防災連絡会議、コミュニティスクール、防災キャンプ等を独自の取組みを予定している学校もある。

学校防災連絡会議

内容	R8 実施予定校数
各学園又は学校において、児童生徒や地域住民の防災力向上と実践的な態度の育成を図ることを目的として、学校防災連絡会議を開催し、地域と連携した避難訓練や外部講師を活用した防災教室等を実施している。なお、年度当初に教育局から各自治会、消防団宛てに協力依頼を行っている。	22 校/51 校

5 学校単位での危機管理マニュアルの策定

危険等が発生した際に教職員が円滑かつ的確な対応を図るため、毎年各学校、幼稚園で危機管理マニュアルを作成している。

※ 学校保健安全法に基づき、全ての学校において作成が義務付けられている。

各学園・学校における学校防災事業実施計画一覧

資料4

No .	学校名	問1 今年度に実施予定の学校防災に係る取組 (引進し訓練・防災連絡会議・定例的な避難訓練)	問2 問1の取組について、記載例を参考にして実施予定の時期・対象者・参加予定人数を 記入してください。	問3 【児童生徒対象】今年度を実施予定の学校防災の取組 (つくばスタイル科など授業・学校活動での取組)	問4 【教職員対象】今年度を実施予定の学校防災に係る取組 (教職員研修・講話など)	問5 問4の取組について、記載例を参考に詳細を記入してく ださい。	問6 【PTA・地域の方々対象】今年度実施予定の学校防災に係る取 組がございましたら記入してください。
1	栄小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	桜学園合同引進し訓練 6月 対象者：1年生児童・教職員 約50名 （2～6年生は地震想定避難訓練のみ行う） ショート避難訓練（シェイクアウト訓練） 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約250名 定例的な避難訓練 避難経路確認 4月 竜巻想定 11月 地震想定 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約250名	■ つくばスタイル科 防災バック作成 □ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他（防災倉庫の見学）	□ つくば市学校防災研修会の参加 ■ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防 災研修会を除く） ■ 救急救命講習 □ 警察署等の防犯講習	桜学園合同防災に係る教職員研修：8月 講師：自衛隊 つくば市危機管理課職員 主な内容：学校で災害が起こった場合の危険について意見交 流、段ボールベッドやブルーシートを使った担架の体験、新 聞スリッパやペットボトルを使った簡単ランタンづくり、 Jeep等装備品の展示見学 救急救命講習 6月 講師：本校養護教諭	桜学園合同防災に係る教職員研修：8月 講師：自衛隊 つくば市危機管理課職員 コミュニティ・スクールも参加予定
2	九重小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	桜学園合同引進し訓練 6月 対象者：全校児童生徒・教職員 約400名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練） 9月 対象者：全校児童・教職員 約210名 定例的な避難訓練 火災想定 5月 地震想定 9月 不審者想定 1月 対象者：全校児童・教職員 約210名	□ つくばスタイル科 防災バック作成 □ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他（防災かるたを使った授業実践）	■ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防 災研修会を除く） ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 6月 講師：日本赤十字社からの講師 防災に係る教職員研修：8月 講師：自衛隊 主な内容：防災に関する体験等 防犯講習 1月 講師：つくば警察署職員	
3	桜南小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	桜並木学園合同引き渡し訓練 5月11日 対象者：全校児童・教職員・保護者 約600名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練） 9月 対象者：全校児童・教職員 約450名 定期的な避難訓練 震災想定 5月11日 地震・火災想定 12月4日 不審者想定 9月29日 対象者：全校児童・教職員 約450名	■ つくばスタイル科 防災バック作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	■ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防 災研修会を除く） ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 講師：養護教諭 防犯講習 講師：つくば警察署職員	学園地域学校防災連絡協議会 12月予定 対象者：学園内区長、防災・防犯担当、学園内保幼小中高担当者 約 50名
4	東原小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	桜学園合同引進し訓練 6月 対象者：全校児童・教職員・保護者約100名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練） 9月 対象者：全校児童・教職員 約60名 定例的な避難訓練 火災想定4月 竜巻想定 6月 不審者想定 12月 対象者：全校児童・教職員 約60名	■ つくばスタイル科 防災バック作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他（12月 不審者対応の防犯講習（不 審者想定避難訓練実施後に予定））	■ つくば市学校防災研修会の参加 ■ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防 災研修会を除く） ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	防災に係る教職員研修：8月 講師：自衛隊茨城地方協力本部 主な内容：以下の4つのブースで巡回体験の予定 1）ブルーシート担架・段ボールベッド体験 2）学校での危険・避難所について自衛隊の方と交流 3）ペットボトルランタン・新聞スリッパづくり 4）自衛隊装備（Jeep）見学 救急救命講習 6月 講師：日本赤十字社職員 防犯講習 12月 講師：つくば警察署職員	地域防災会議：8月 参加予定：CS委員、区長、民生委員、消防団、保護者、教職員 講師：自衛隊茨城地方協力本部 主な内容：以下の4つのブースで巡回体験の予定 1）ブルーシート担架・段ボールベッド体験 2）学校での危険・避難所について自衛隊の方と交流 3）ペットボトルランタン・新聞スリッパづくり 4）自衛隊装備（Jeep）見学
5	竹園東小学校	■ 学園合同引進し訓練 □ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	竹園学園合同引進し訓練 5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約880名 定例的な避難訓練 地震・火災想定 4月、9月 不審者想定 11月 対象者：全校児童生徒・教職員 約880名	■ つくばスタイル科 防災バック作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防 災研修会を除く） ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 8月 講師：つくば消防署職員 防犯講習 11月 不審者対応避難訓練にて、警察署員から講習を受ける予定	竹園学園（3校合同）で、12月に地域住民を交えて学校防災連絡協 議会を行う予定
6	並木小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 □ 上記以外の定例的な避難訓練	桜並木学園合同引進し訓練 5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約425名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練） 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約425名 定例的な避難訓練 火災想定 5月 地震想定 9月 不審者想定 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約425名	■ つくばスタイル科 防災バック作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	■ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防 災研修会を除く） ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 8月 講師：つくば消防署職員 防犯講習 1月 講師：つくば警察署職員	学校防災連絡会議 12月 対象：教職員、地域住民 約30名
7	吾妻小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	吾妻学園合同引進し訓練 5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約800名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練） 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約800名 防災キャンプ（2日間）9月 対象者：学園児童生徒・保護者・ボランティア団体、教職員 定例的な避難訓練 火災想定 5月 地震想定 9月 不審者想定 11月 対象者：全校児童生徒・教職員 約800名	□ つくばスタイル科 防災バック作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他（防災キャンプ、防災に関する授 業）	■ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防 災研修会を除く） ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 5月 講師：つくば消防署職員 防災に係る教職員研修：8月 講師：道路地震防災研究所 長屋 和宏 先生 国土交通省 国土技術政策総合研究所 防犯講習 11月 講師：つくば警察署職員	CSによる防災キャンプと防災に関する授業を実施予定
8	谷田部小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	輝翔学園合同引進し訓練5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約900名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練） 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約900名 定例的な避難訓練 地震想定 5月 不審者想定 11月 火災想定2月 対象者：全校児童生徒・教職員 約900名	■ つくばスタイル科 防災バック作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他（避難訓練実施時の事前・事後指導 等）	■ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防 災研修会を除く） ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	防災に係る教職員研修：4月 内容：避難場所と避難経路の確認 救急救命講習：7月 講師：本校養護教諭（PUSH指導者資格所持） 不審者対応教職員研修：11月 内容：オンデマンド動画視聴 防犯講習：2月 講師：つくば警察署職員 内容：さすまたの使い方	学園地域防災連絡会：12月

No .	学校名	問1 今年度に実施予定の学校防災に係る取組 (引進し訓練・防災連絡会議・定例的な避難訓練)	問2 問1の取組について、記載例を参考にして実施予定の時期・対象者・参加予定人数を 記入してください。	問3 【児童生徒対象】今年度を実施予定の学校防災の取組 (つくばスタイル科など授業・学校活動での取組)	問4 【教職員対象】今年度を実施予定の学校防災に係る取組 (教職員研修・講話など)	問5 問4の取組について、記載例を参考に詳細を記入してください。	問6 【PTA・地域の方々対象】今年度実施予定の学校防災に係る取組 がございましたら記入してください。
9	真將小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	高山学園合同引進し訓練 6月 対象者：全校児童生徒・教職員 約130名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練） 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約130名 定例的な避難訓練 火災想定 4月 地震想定 6月、9月（上記引進し訓練、シェイクアウト訓練と兼ねる。） 不審者想定 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約130名	■ つくばスタイル科 防災バック作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	■ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 □ 警察署等の防犯講習	学校防災に係る教職員研修：4月 講師：本校教頭 主な内容：危機管理マニュアルについての共通理解 市学校防災研修会、救急救命講習への参加予定	地域の防災訓練 6月
10	島名小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	高山学園合同引進し訓練 6月 対象者：全校児童生徒・教職員 約450名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練） 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約450名 定例的な避難訓練 火災想定 5月 電巻想定 9月 不審者想定 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約450名	■ つくばスタイル科 防災バック作成 □ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他（防災キャンプ 避難所体験）	□ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 8月 講師：つくば消防署職員 防犯講習 12月 講師：つくば警察署職員または民間警備会社	防災キャンプや避難所体験
11	蜀城小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	光輝学園合同引進し訓練 5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約530名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練） 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約530名 定例的な避難訓練 地震想定 4月 不審者想定 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約530名	■ つくばスタイル科 防災バック作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他（防災教室）	□ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 □ 警察署等の防犯講習	救急救命にかかる研修 7月 ・動画の視聴 ・AEDの使用の仕方について ・緊急時のシュミレーション	コミュニティ・スクールによる4年生の防災教室の実施
12	柳穂小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	輝翔学園合同引進し訓練 5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約100名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練） 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約100名 定例的な避難訓練 火災想定 1月 地震想定 5月 不審者想定 10月 電巻想定 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約100名	■ つくばスタイル科 防災バック作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	救急救命講習：6月 講師：いばらきPUSHまたは日本光電 主な内容：AEDの使用手法、心臓マッサージ、人工呼吸 防犯講習 10月 講師：つくば警察署職員	
13	小野川小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	洞峰学園合同引進し訓練 5月 対象者：学園全校児童生徒・教職員 約3140名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練） 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約290名 定例的な避難訓練 電巻想定 9月 不審者想定 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約290名	■ つくばスタイル科 防災バック作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 □ 警察署等の防犯講習	学園救急救命講習（若手研修） 8月 55人 講師：ジャパンライフセービング	学校防災フェスタ 11月 爆体験、洪水体験、地震揺動など コミュニティ・スクール主体
14	手代木南小学校	■ 学園合同引進し訓練 □ ショート避難訓練 □ 上記以外の定例的な避難訓練	光輝学園合同引進し訓練 5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約750名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練） 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約450名 定例的な避難訓練 火災想定 5月 地震想定 11月 不審者想定 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約450名	■ つくばスタイル科 防災バック作成 □ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他（防災手帳作成）	□ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 7月 防犯講習 1月 講師：つくば警察署職員	
15	沼崎小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	豊里学園合同引進し訓練（沼崎小） 5月1日（金） 対象者：全校児童・教職員 約800名 シェイクアウト訓練 9月1日（火） 対象者：全校児童生徒・教職員 約400名 定例的な避難訓練 火災想定 4月13日（月）実施済み（つくば市消防の来校協力あり） 地震想定 9月 不審者想定 1月 対象者：全校児童・教職員 約400名	■ つくばスタイル科 防災バック作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	■ つくば市学校防災研修会の参加 ■ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	防災に係る学園合同研修：12月 講師：現段階では未依頼 救急救命講習 5月 講師：つくば市消防署職員を予定（現段階で未依頼） 防犯講習 1月（避難訓練に合わせて） 講師：つくば警察署職員を予定（現段階で未依頼）	学園合同防災連絡会議 12月を予定
16	今鹿島小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	豊里学園合同引進し訓練 6月 対象者：全校児童生徒・教職員 約900名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練） 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約150名 定例的な避難訓練 電巻想定4月 地震想定5月 不審者想定11月 火災想定 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約150名	■ つくばスタイル科 防災バック作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 □ 警察署等の防犯講習	心肺蘇生講習会（教職員） 7月 本校体育館 ・胸荷圧迫、AED、エビベン、嘔吐対応	豊里学園防災連絡協議会（豊里学園コミュニティスクール推進委員対象） 時期、講師ともに未定

No .	学校名	問1 今年度に実施予定の学校防災に係る取組 (引渡し訓練・防災連絡会議・定例的な避難訓練)	問2 問1の取組について、記載例を参考にして実施予定の時期・対象者・参加予定人数を 記入してください。	問3 【児童生徒対象】今年度実施予定の学校防災の取組 (つくばスタイル科など授業・学校活動での取組)	問4 【教職員対象】今年度実施予定の学校防災に係る取組 (教職員研修・講話など)	問5 問4の取組について、記載例を参考に詳細を記入してください。	問6 【PTA・地域の方々対象】今年度実施予定の学校防災に係る取組 がございましたら記入してください。
17	上郷小学校	■ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	豊里学園合同引渡し訓練 6月 対象者：全校児童生徒・教職員 約400名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練） 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約260名 定例的な避難訓練 火災想定 4月（避難経路確認）不審者想定 11月 対象者：全校児童生徒・教職員 約260名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他（上小キャンパでの講話・サバイバル体験）	□ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 8月 講師：本校職員（養護教諭） 防犯講習 1月 講師：つくば警察署職員	地域防災連絡協議会：11月 講師：つくば市危機管理課職員
18	大曽根小学校	□ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	引渡し訓練 4月 対象者：全校児童生徒・教職員・保護者、約940名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練） 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約540名 定例的な避難訓練 地震・火災想定 4月 不審者想定1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約540名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	■ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 □ 警察署等の防犯講習	つくば市学校防災研修会 12月 オンライン 救急救命講習 6月 講師：養護教諭	学園防災連絡会議 8月 学校防災会議 11月
19	前野小学校	□ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	ショート避難訓練（シェイクアウト訓練） 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約150名 引き渡し訓練 5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約150名 定例的な避難訓練 地震・火災想定 4月 対象者：全校児童生徒・教職員 約150名 救急シミュレーション訓練（心肺蘇生） 6月 対象者：教職員 約20名 雷、大雨、竜巻からの避難訓練 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約150名 不審者想定（さすまた講習、警察と連携） 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約150名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 □ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他（防災キャンプ）	□ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 6月 講師：外部人材（看護師） 防犯講習 1月 講師：つくば警察署職員	防災キャンプ 外部人材を招いて災害時に役に立つ活動（昨年度は、廃材を利用した火起こし体験からの飯盒炊飯、詳細は検討中）を計画
20	要小学校	■ 学園合同引渡し訓練 □ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	引渡し訓練 5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約100名 定例的な避難訓練 火災想定 4月 地震想定 9月 不審者想定 12月 対象者：全校児童生徒・教職員 約100名	□ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） □ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 8月 講師：つくば消防署職員 防犯講習 1月 講師：つくば警察署職員	大穂学園地域連携防災会議 講師 国総研 長屋 和宏 様
21	吉沼小学校	□ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	引渡し訓練 5月 対象者：全校児童生徒・教職員・保護者 約260名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練） 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約160名 定例的な避難訓練 火災想定 4月 地震想定 9月 不審者想定 11月 対象者：全校児童生徒・教職員 約160名	□ つくばスタイル科 防災バッグ作成 □ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他（自衛隊による防災教室）	□ つくば市学校防災研修会の参加 ■ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 □ 警察署等の防犯講習	防災に係る教職員研修：8月 講師：長屋 和宏 先生 国総研職員 主な内容： 講和と実習 救急救命講習 8月 講師： 養護教諭	
22	谷田部南小学校	■ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	翠峰学園合同引渡し訓練5月 対象者：全校児童・教職員 約90名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練） 9月 対象者：全校児童・教職員 約90名 定例的な避難訓練 火災・竜巻想定11月 不審者想定1月 対象者：全校児童・園児・幼小教職員 各約180名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	■ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 □ 警察署等の防犯講習	シミュレーション研修：6月 AEDの研修 アレルギー等に関する研修 救命救命講習：8月 講師：つくば消防署職員	コミュニティ・スクール協議会において、学校の地域における防災時の役割の確認及び地域と共にできる防災教育について検討する予定である
23	二の宮小学校	■ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	洞峰学園合同引渡し訓練 5月 対象者：全校児童生徒・保護者、教職員 約1840名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練） 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約500名 定例的な避難訓練 火災想定 4月 不審者想定 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約500名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他（自衛隊による防災教室）	□ つくば市学校防災研修会の参加 ■ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	避難訓練（不審者対応） 12月 20人	学園合同引き渡し訓練 5月8日 自衛隊による防災教室 10月29日

No.	学校名	問1 今年度に実施予定の学校防災に係る取組 (引進し訓練・防災連絡会議・定例的な避難訓練)	問2 問1の取組について、記載例を参考にして実施予定の時期・対象者・参加予定人数を 記入してください。	問3 【児童生徒対象】今年度を実施予定の学校防災の取組 (つくばスタイル科など授業・学校活動での取組)	問4 【教職員対象】今年度を実施予定の学校防災に係る取組 (教職員研修・講話など)	問5 問4の取組について、記載例を参考に詳細を記入してください。	問6 【PTA・地域の方々対象】今年度実施予定の学校防災に係る取組 がございましたら記入してください。
24	竹園西小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	竹園学園合同引進し訓練 5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約870名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練）9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約870名 定例的な避難訓練 地震想定 4月 不審者想定 10月 火災想定 11月 対象者：全校児童生徒・教職員 約870名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	■ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 4月 講師：つくば消防署職員 防犯講習 10月 講師：つくば警察署職員	（学園）学校防災連絡会議（竹園西小主催） 11月 「防災倉庫の確認」を実施
25	松代小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	光輝学園合同引進し訓練 5月 対象者：全校児童生徒・教職員・保護者 約800名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練）9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約400名 定例的な避難訓練 地震想定 4月、竜巻想定 6月、不審者想定11月、火災想定12月、地震想定無告知 2月 対象者：全校児童生徒・教職員 約400名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 8月 講師：本校職員（看護師免許所持者） 防犯講習 11月予定 講師：つくば警察署職員	学校防災連絡会議 10月予定 地域の防災士を講師に招いて、児童・保護者・教職員向けに授業を実施
26	東小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	桐峰学園合同引進し訓練 5月 対象者：全校児童生徒・教職員・保護者 約3140名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練）9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約444名 救急救命 若手研修（兼）8月 55名 避難経路確認 4月 不審者想定 6月 定例的な避難訓練 火災想定 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約444名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	■ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	防災に係る教職員研修：（予）8月 講師：（予）つくば市危機管理課職員 主な内容：（仮）防災 救急救命講習（予）8月 講師：（予）つくば消防署職員 防犯講習（予）11月 講師：（予）つくば警察署職員	検討中
27	基崎第一小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	高崎学園合同引進し訓練 5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約800名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練）9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約500名 定例的な避難訓練 火災想定 4月 地震想定 10月 不審者想定 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約500名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 □ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 6月 講師：養護教諭 防犯講習 1月 講師：つくば警察署職員	高崎学園防犯連絡会議 7月
28	基崎第二小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	基崎学園合同引進し訓練 6月 対象者：全校児童生徒・教職員 約170名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練）9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約170名 定例的な避難訓練 火災想定 4月 不審者想定 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約170名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	■ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 □ 警察署等の防犯講習	つくば市学校防災研修会 12月 救急救命講習 4月 講師：つくば消防署基崎分署職員	学園防災連絡会議 10月 防災ウォークラリー 10月
29	基崎第三小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	基崎学園合同引進し訓練 6月 対象者：全校児童生徒・教職員 約150名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練）9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約150名 定例的な避難訓練 火災想定 4月 地震想定 9月 不審者想定 11月 対象者：全校児童生徒・教職員 約150名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	■ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 □ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 4月 講師：つくば消防署職員	学校防災連絡会議（基崎学園） 10月予定
30	香取台小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	高山学園合同引進し訓練 6月 対象者：全校児童生徒・教職員 約700名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練）地震想定 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約700名 定例的な避難訓練 火災想定 5月 不審者想定 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約700名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ つくば市学校防災研修会の参加 ■ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 4月 講師：養護教諭 防犯講習 8月 講師：つくば警察署職員	
31	研究学園小学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	紅色学園合同引進し訓練 5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約500名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練）9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約400名 不審者対応避難訓練 6月 対象者：全校児童生徒・教職員 約500名 地震、火災避難訓練 12月1日（月） 対象者：全校児童生徒・教職員 約500名	□ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 □ 警察署等の防犯講習	AED、シミュレーション講習月 講師：養護教諭 4月 シミュレーション講習 8月 講師：養護教諭	今年度も昨年に引き続き、コミュニティ・スクールを絡めた学校防災の行事を実施する予定ですが、詳細が決まっております。

No.	学校名	問1 今年度に実施予定の学校防災に係る取組 (引進し訓練・防災連絡会議・定例的な避難訓練)	問2 問1の取組について、記載例を参考にして実施予定の時期・対象者・参加予定人数を 記入してください。	問3 【児童生徒対象】今年度を実施予定の学校防災の取組 (つくばスタイル科など授業・学校活動での取組)	問4 【教職員対象】今年度を実施予定の学校防災に係る取組 (教職員研修・講話など)	問5 問4の取組について、記載例を参考に詳細を記入してください。	問6 【PTA・地域の方々対象】今年度実施予定の学校防災に係る取組 がございましたら記入してください。
40	豊里中学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	豊里学園合同引進し訓練 5月 対象者: 全校生徒・教職員 約460名 ショート避難訓練 (シェイクアウト訓練) 4月 対象者: 全校生徒・教職員 約460名 定例的な避難訓練 火災想定 5月 不審者想定 11月 対象者: 全校生徒・教職員 約460名	☐ つくばスタイル科 防災バック作成 ☐ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☒ その他 (CS協議会委員と生徒との共同実施による防災会議)	☐ つくば市学校防災研修会の参加 ☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 救急救命講習 ☐ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 8月 講師: つくば消防署職員 主な内容: 心肺蘇生法、AED使用方法 等	学校防災連絡会議11月 講義、避難所設置等 実施予定
41	大穂中学校	☐ 学園合同引進し訓練 ☒ ショート避難訓練 ☒ 上記以外の定例的な避難訓練	ショート避難訓練 (シェイクアウト訓練) 9月 対象者: 全校児童生徒・教職員 約400名 定例的な避難訓練 地震想定 5月 火災想定 10月 不審者想定 1月 対象者: 全校児童生徒・教職員 約400名	☐ つくばスタイル科 防災バック作成 ☐ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☒ その他 (避難所設置)	☒ つくば市学校防災研修会の参加 ☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 救急救命講習 ☒ 警察署等の防犯講習	食物アレルギー講習 4月 講師: つくば市健康教育課 救急救命講習 8月 (予定) 講師: つくば消防署職員 防犯講習 1月 講師: つくば警察署職員	防災に係る研修: 8月 講師: 国総研 長屋 和弘 先生 主な内容: 大穂学園としての防災連絡会議を実施する予定
42	谷田部東中学校	■ 学園合同引進し訓練 ☐ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	桐峰学園合同引進し訓練 5月 対象者: 全校生徒・教職員 約600名 + 学園内小学校の児童・教職員 定例的な避難訓練 火災想定 4月 不審者想定 6月 竜巻想定 9月 対象者: 全校児童生徒・教職員 約600名	☐ つくばスタイル科 防災バック作成 ☒ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☒ その他 (7年生理科の授業 (地震・火山噴火と防災について))	☐ つくば市学校防災研修会の参加 ☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 救急救命講習 ☐ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 8月 講師: 未定	
43	吾妻中学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	吾妻学園合同引進し訓練 5月 対象者: 全校児童生徒・教職員・保護者 約1900名 ショート避難訓練 (シェイクアウト訓練) 9月 対象者: 全校児童生徒・教職員 約300名 定例的な避難訓練 火災想定 4月 地震想定 5月 不審者想定 2月 対象者: 全校児童生徒・教職員 約300名	☐ つくばスタイル科 防災バック作成 ☐ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☒ その他 (つくばスタイル科で、各学年で防災に関わる単元を行う。)	☒ つくば市学校防災研修会の参加 ☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 救急救命講習 ☐ 警察署等の防犯講習	防災に係る教職員研修: 8月に行われる際は、保健主事が主に参加予定 救急救命講習 7～8月 講師: つくば消防署職員	コミュニティスクールで作成した吾妻学園防災手帳を配布 5月
44	峯崎中学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	峯崎学園合同引進し訓練 6月 対象者: 全校生徒・教職員 約300名 ショート避難訓練 (シェイクアウト訓練) 9月 対象者: 全校生徒・教職員 約200名 定例的な避難訓練 火災想定 4月 地震想定 9月 不審者想定 2月 対象者: 全校児童生徒・教職員 約200名	☐ つくばスタイル科 防災バック作成 ☐ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☒ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☐ その他	☒ つくば市学校防災研修会の参加 ☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 救急救命講習 ☒ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 4月、12月 講師: 教職員 つくば消防署職員 防犯講習 2月 講師: つくば警察署職員	学校防災連絡会議 10月
45	高崎中学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	高崎学園合同引進し訓練 5月 対象者: 全校児童生徒・保護者 約600名 ショート避難訓練 (シェイクアウト訓練) 11月 対象者: 全校生徒・教職員 約300名 定例的な避難訓練 火災想定 4月 地震想定 5月 不審者想定 9月 対象者: 全校生徒・教職員 約300名	☐ つくばスタイル科 防災バック作成 ☒ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☐ その他	☐ つくば市学校防災研修会の参加 ☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 救急救命講習 ☒ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 8月 講師: つくば警察署職員 防犯講習 11月 講師: 警察署サポーター職員	・コミュニティ・スクールとの話し合いで、学区の危険箇所や通学路の危険箇所について共有 ・高崎学園防災連絡会議で各学校の取組の共有や地域の方への協力依頼
46	研究学園中学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ☐ 上記以外の定例的な避難訓練	紅色学園合同引進し訓練 5月 対象者: 全校児童生徒・教職員・保護者約1500名 ショート避難訓練 (シェイクアウト訓練) 9月 対象者: 全校児童生徒・教職員 約760名 定例的な避難訓練 火災想定 5月 地震想定 11月 不審者想定 6月 対象者: 全校児童生徒・教職員 約760名	☒ つくばスタイル科 防災バック作成 ☒ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☒ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☐ その他	☐ つくば市学校防災研修会の参加 ☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 救急救命講習 ☐ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 4月 講師: 養護教諭が中心となって実施	コミュニティ・スクール主催で実施予定。地域防災イベント
47	みどりの南中学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	緑輝学園合同引進し訓練5月 対象者: 全校児童生徒・教職員 約1000名 ショート避難訓練 (シェイクアウト訓練) 9月 対象者: 全校生徒・教職員 約250名 定例的な避難訓練 不審者想定 9月 火災想定 1月 対象者: 全校生徒・教職員 約250名	☐ つくばスタイル科 防災バック作成 ☒ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☒ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☐ その他	☐ つくば市学校防災研修会の参加 ☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 救急救命講習 ☒ 警察署等の防犯講習	交通安全・防犯に関わる講習: 5月、9月 講師: つくば警察署職員 主な内容: さすまたの使い方など 救急救命講習 7月 講師: つくば消防署職員	

No .	学校名	問1 今年度に実施予定の学校防災に係る取組 (引進し訓練・防災連絡会議・定例的な避難訓練)	問2 問1の取組について、記載例を参考にして実施予定の時期・対象者・参加予定人数を 記入してください。	問3 【児童生徒対象】今年度実施予定の学校防災の取組 (つくばスタイル科など授業・学校活動での取組)	問4 【教職員対象】今年度実施予定の学校防災に係る取組 (教職員研修・講話など)	問5 問4の取組について、記載例を参考に詳細を記入してください。	問6 【PTA・地域の方々対象】今年度実施予定の学校防災に係る取組 がございましたら記入してください。
48	春日学園義務教育学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	春日学園義務教育学校引進し訓練 5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約1000名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練）9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約1000名 定例的な避難訓練 火災想定 5月 地震想定 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約1000名 不審者想定 11月 対象者：全校児童生徒・教職員 約1000名 たつまき想定 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約1000名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他（春日フェスタ（コミュニティ・スクールの一環として防災教育で学んできたことの発表と実地体験の場として実施）	■ つくば市学校防災研修会の参加 ■ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 ■ 警察等の防犯講習	防災に係る児童生徒に向けた講演：6月～8月 講師：国土交通省 国土技術政策総合研究所 企画課（併）道路地震防災研究室 長屋 和宏先生 つくば市危機管理課職員 主な内容：児童生徒に対しては、つくばスタイル科において防災教育の一環として、講演をいただく。 つくばスタイル科で学んできた内容を、コミュニティ・スクールの一環として実施する春日フェスタにおいて、各ブースで保護者や地域の方、本校の児童に向けた発表を行う。 救急救命講習 6、8月 講師：つくば消防署職員 内容：6月にはプールの実施前に、水難事故に特化した救命救急救命講習を行う。8月の救命救急では全職員参加で講習を受講する。 防犯講習 11月 講師：つくば警察署職員 内容：不審者が校内に入ってきた際の、声掛け、距離の取り方、通報の方法、避難誘導の方法などの具体的な講習を行う。児童やモデルとなる学年・学級以外には、状況をオンラインで配信し、各クラスでリアルタイムで学ぶ。	令和7年度には、コミュニティ・スクールの一環として、児童生徒が防災教育で学んできたことの発表と実地体験の場として、「春日フェスタ」を実施しました。 コミュニティ・スクールでこれまで話し合ってきた内容の実現の場として、防災をテーマとした本校児童生徒の学びの発表と、保護者や地域の方を本校に招き、各種企画や展示等を行いました。 その際、本市危機管理課、消防、警察、自衛隊、各研究所等を招き、各種展示や演示、説明等を行っていただくことで、児童生徒、保護者、地域の方の防災意識を高めるとともに、より現実的で実地的な学びのある活動を行いました。 さらに、PTA主催の講演会や出店、キッチンカーによる昼食の販売等も行うことで、地域づくりも進めました。 本年度は、昨年度の内容を踏まえ、第2回の春日フェスタとして、内容の精選や発展を検討し、実施します。
49	秀峰筑波義務教育学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 □ 上記以外の定例的な避難訓練	引進し訓練 7月 対象者：全校児童生徒・教職員 約1,000名 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練）9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約1,000名 定例的な避難訓練 地震想定 4月 不審者想定 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約1,000名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他（筑波地区防災イベントへの参加）	■ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 ■ 警察等の防犯講習	救急救命講習：8月 講師：つくば消防署職員 防犯講習 1月 講師：つくば警察署職員	今年度も、筑波地区防災イベントに児童生徒・教職員が参加し、学校と家庭・地域が一体となった防災教育を実施する。
50	学園の森義務教育学校	■ 学園合同引進し訓練 □ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	学園の森義務教育学校 合同引進し訓練 5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約1800名 定例的な避難訓練 避難経路確認 5月 シェイクアウト 9月 不審者想定 12月 対象者：全校児童生徒・教職員 約1800名	□ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 □ 警察等の防犯講習	救急救命講習 4月 講師：つくば消防署職員	学園の森義務教育学校 合同引進し訓練 5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約1800名
51	みどりの学園義務教育学校	■ 学園合同引進し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	引進し訓練 5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約2000名と保護者 ショート避難訓練（シェイクアウト訓練）9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約2000名 定例的な避難訓練 地震想定 5月 不審者想定 9月 火災想定 12月 対象者：全校児童生徒・教職員 約2000名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く） ■ 救急救命講習 □ 警察等の防犯講習	救急救命講習 8月 講師：つくば消防署職員	学園地域防災連絡会議

つくば市学校防災事業の課題及び今後の対応について

1 課題

昨年度、各学校へ実施した調査で、以下の課題が挙げられた。

- (1) 防災に係る講師の情報がない（講師を紹介してほしい）
- (2) 先進的な取組・他市町村の取組の事例紹介がほしい

2 今後の対応

- (1) 防災に係る講師の情報を収集し、学校へ周知する。

（講師として考えられる方の例）

- ・つくば科学出前レクチャー事業 「災害から身を守るために」
国土交通省 国土技術政策総合研究所 長屋 和宏 様
- ・つくば市危機管理課 「家庭ではじめる防災対策」
- ・つくば市消防本部予防課 「防火講話」

- (2) 先進的な取組・他市町村の取組の情報を収集し、学校へ周知する。

（先進的な取組の例）

- ・コミュニティ・スクールを活用した防災イベント 等

3 事例紹介

題目：「つくば科学出前レクチャー事業での事例紹介」

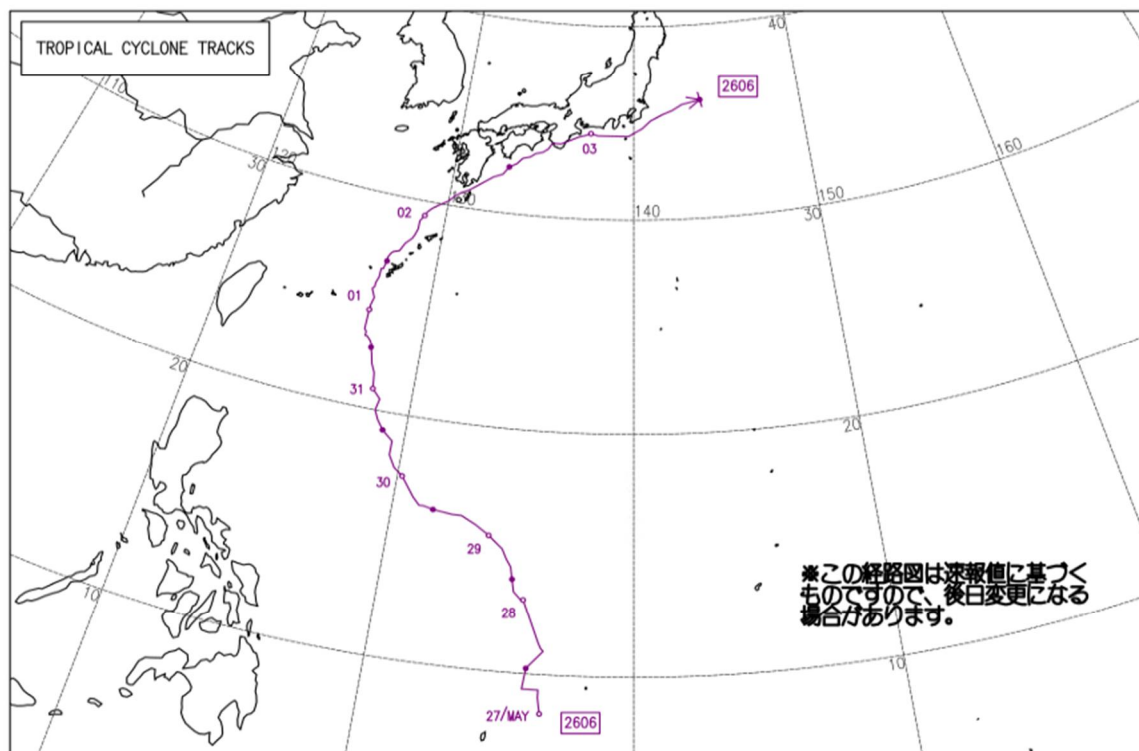
講師：国土交通省 国土技術政策総合研究所 長屋 和宏 様

令和 8 年台風第 6 号における休園・休校等措置までの流れ

日付	時間	対応
6 / 1 (月)	午前中	○課内にて休園・休校措置の検討
	午後	○各市町村と情報交換
	夕方	○局内にて休園・休校措置における連携機関および連絡系統の確認
6 / 2 (火)	8 : 10	○局内にて休園・休校措置の方針決定
	8 : 30 ~ 11 : 30	○庁内調整
	11 : 52	○課メールにて各校に休園・休校措置に係る通知文を送付
	12 : 27	○課メールにて、各校の保護者向けの通知文を送付
6 / 3 (水)		○休園・休校

台風経路図 令和8年（2026年）

【5】 第6号※（上陸） ▼ 表示する台風を選択してください。（※印：速報解析による速報値、無印：事後解析による確定値）
【】内の数字は台風の発生した月（協定世界時基準）を示しています。（接近）、（上陸）は日本に接近、上陸した台風であることを示しています。
台風の各日時の詳細な位置等については[台風位置表（PDF形式）](#)をご覧ください。



経路上の○印は傍らに記した日の午前9時、●印は午後9時（いずれも日本標準時）の位置で→は消滅を示します。
経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧・温帯低気圧の期間を示します。

出典：気象庁ホームページ

2026年台風第6号 JANGMI (2606)

位 置 表 (速報値)

(日本時) 月 日 時	中心位置		中心 気圧 hPa	最大 風速 m/s	暴風域半径 km	強風域半径 km	大きさ・強さ 等		
	緯度	経度					大きさ	強さ	
							台風発生		
5 27 09	8.5 N	136.6 E	1000	18	---	SW: 440 NE: 330	—	—	
	12 9.1	136.5	1000	18	---	SW: 440 NE: 330	—	—	
	15 9.4	136.5	1000	18	---	SW: 440 NE: 330	—	—	
	18 9.4	135.9	1000	18	---	SW: 440 NE: 330	—	—	
	21 10.2	136.0	1000	18	---	SW: 440 NE: 330	—	—	
28 00	10.9	136.6	1000	18	---	SW: 440 NE: 330	—	—	
	03 11.0	136.5	1000	18	---	SW: 440 NE: 330	—	—	
	06 11.2	136.4	1000	18	---	SW: 440 NE: 330	—	—	
	09 12.9	135.7	1000	18	---	330	—	—	
	12 12.9	135.6	1000	18	---	330	—	—	
	15 13.0	135.5	998	18	---	330	—	—	
	18 13.2	135.3	998	18	---	330	—	—	
	21 13.7	135.2	998	18	---	390	—	—	
	29 00	14.2	135.1	998	18	---	390	—	—
		03 14.5	134.9	998	18	---	440	—	—
06 14.9		134.7	998	18	---	440	—	—	
09 15.4		134.1	998	18	---	440	—	—	
12 15.8		133.5	998	18	---	440	—	—	
	15 16.1	132.9	998	18	---	440	—	—	
	18 16.1	132.5	996	20	---	440	—	—	
	21 16.2	131.7	996	20	---	440	—	—	
	30 00	16.3	131.3	992	23	---	440	—	—
		03 16.3	131.1	992	23	---	440	—	—
06 16.6		130.8	992	23	---	440	—	—	
09 17.4		130.2	992	23	---	440	—	—	
12 17.7		129.8	992	23	---	440	—	—	
	15 18.2	129.5	990	25	---	440	—	—	
	18 18.8	129.5	990	25	---	440	—	—	
	21 19.2	129.0	985	30	55	440	—	—	
	31 00	19.6	128.7	985	30	55	440	—	—
		03 20.0	128.5	985	30	110	440	—	—
06 20.5		128.6	985	30	110	440	—	—	
09 20.9		128.2	980	30	140	440	—	—	
12 21.6		128.1	975	30	185	440	—	—	
	15 22.0	127.9	975	30	185	440	—	—	
	18 22.4	127.8	975	30	185	E: 500 W: 390	—	—	
	21 22.7	127.7	975	30	185	E: 500 W: 390	—	—	
	22 22.8	127.7	975	30	185	E: 500 W: 390	—	—	
	23 23.0	127.6	975	30	185	E: 500 W: 390	—	—	
6 1 00	23.1	127.5	975	30	185	E: 500 W: 390	—	—	
	01 23.2	127.4	975	30	185	E: 500 W: 390	—	—	
	02 23.2	127.3	975	30	185	E: 500 W: 390	—	—	
	03 23.4	127.3	975	30	185	E: 500 W: 390	—	—	
	04 23.5	127.2	975	30	185	E: 500 W: 390	—	—	
	05 23.7	127.2	975	30	185	E: 500 W: 390	—	—	
	06 23.9	127.2	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	—	—	
	07 24.0	127.2	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	—	—	
	08 24.1	127.2	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	—	—	
	09 24.4	127.2	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	—	—	
	10 24.4	127.3	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	—	—	
	11 24.6	127.2	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	—	—	
	12 25.0	127.3	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	—	—	
	13 25.2	127.2	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	—	—	
	14 25.4	127.1	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	—	—	
15 25.5	127.2	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	—	—		

続く

月	日	時	中心位置		中心 気圧 hPa	最大 風速 m/s	暴風域半径		強風域半径		大きさ・強さ 等	
			緯度	経度			km	km	km	km	大きさ	強さ
6	1	16	25.7 N	127.2 E	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	—	—
		17	26.0	127.3	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	—	—
		18	26.2	127.3	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	—	—
		19	26.4	127.3	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	—	—
		20	26.4	127.4	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	—	—
		21	26.8	127.5	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	—	—
		22	27.0	127.5	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	—	—
		23	27.2	127.6	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	—	—
	2	00	27.3	127.7	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	—	—
		01	27.4	128.0	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	—	—
		02	27.6	128.1	975	30	E: 185 W: 150	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	—	—
		03	27.8	128.2	975	30	E: 185 W: 130	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	—	—
		04	28.1	128.5	975	30	E: 185 W: 130	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	—	—
		05	28.3	128.6	975	30	E: 185 W: 130	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	E: 500 W: 390	—	—
		06	28.6	128.7	975	30	E: 185 W: 130	SE: 500 NW: 330	SE: 500 NW: 330	SE: 500 NW: 330	—	—
		07	28.8	128.7	975	30	E: 185 W: 130	SE: 500 NW: 330	SE: 500 NW: 330	SE: 500 NW: 330	—	—
		08	29.0	128.7	975	30	E: 185 W: 130	SE: 500 NW: 330	SE: 500 NW: 330	SE: 500 NW: 330	—	—
		09	29.3	128.9	975	25	---	SE: 500 NW: 330	SE: 500 NW: 330	SE: 500 NW: 330	—	—
		10	29.5	129.0	975	25	---	SE: 500 NW: 330	SE: 500 NW: 330	SE: 500 NW: 330	—	—
		11	29.7	129.2	975	25	---	SE: 500 NW: 330	SE: 500 NW: 330	SE: 500 NW: 330	—	—
		12	29.9	129.5	975	25	---	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	—	—
		13	30.2	130.0	975	25	---	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	—	—
		14	30.5	130.3	975	25	---	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	—	—
		15	30.7	130.6	980	25	---	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	—	—
		16	30.9	131.0	980	25	---	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	—	—
		17	31.1	131.3	980	25	---	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	—	—
		18	31.3	131.6	980	25	---	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	—	—
		19	31.7	132.2	980	25	---	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	—	—
		20	31.9	132.7	980	25	---	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	—	—
		21	32.3	133.0	980	25	---	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	—	—
		22	32.5	133.4	980	25	---	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	—	—
		23	32.8	133.7	980	25	---	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	SE: 500 NW: 440	—	—
	3	00	32.9	134.1	980	25	---	S: 500 N: 390	S: 500 N: 390	S: 500 N: 390	—	—
		01	33.1	134.4	980	25	---	S: 500 N: 390	S: 500 N: 390	S: 500 N: 390	—	—
		02	33.2	134.8	980	25	---	S: 500 N: 390	S: 500 N: 390	S: 500 N: 390	—	—
		03	33.4	135.1	980	25	---	S: 500 N: 390	S: 500 N: 390	S: 500 N: 390	—	—
		04	33.7	135.3	980	25	---	S: 500 N: 390	S: 500 N: 390	S: 500 N: 390	—	—
		05	33.7	135.8	980	25	---	S: 500 N: 390	S: 500 N: 390	S: 500 N: 390	—	—
		06	33.9	136.3	980	25	---	SE: 560 NW: 440	SE: 560 NW: 440	SE: 560 NW: 440	大型	—
		07	34.1	136.8	980	25	---	SE: 560 NW: 440	SE: 560 NW: 440	SE: 560 NW: 440	大型	—
		08	34.2	137.2	980	25	---	SE: 560 NW: 440	SE: 560 NW: 440	SE: 560 NW: 440	大型	—
		09	34.3	137.5	980	25	---	SE: 560 NW: 440	SE: 560 NW: 440	SE: 560 NW: 440	大型	—
		10	34.2	137.9	980	25	---	SE: 560 NW: 440	SE: 560 NW: 440	SE: 560 NW: 440	大型	—
		11	34.2	138.3	980	25	---	SE: 560 NW: 440	SE: 560 NW: 440	SE: 560 NW: 440	大型	—
		12	34.2	139.2	985	25	---	SE: 560 NW: 440	SE: 560 NW: 440	SE: 560 NW: 440	大型	—
		13	34.2	139.7	985	25	---	SE: 560 NW: 440	SE: 560 NW: 440	SE: 560 NW: 440	大型	—
		14	34.6	140.5	985	25	---	SE: 560 NW: 440	SE: 560 NW: 440	SE: 560 NW: 440	大型	—
		15	35.0	141.0	985	25	---	E: 650 W: 440	E: 650 W: 440	E: 650 W: 440	大型	—
		16	35.3	141.7	985	25	---	E: 650 W: 440	E: 650 W: 440	E: 650 W: 440	大型	—
		17	35.5	142.3	985	25	---	E: 650 W: 440	E: 650 W: 440	E: 650 W: 440	大型	—
		18	35.8	142.9	985	25	---	E: 650 W: 440	E: 650 W: 440	E: 650 W: 440	大型	—
		21	36.0	144.0	986	—	---	---	---	---	温帯低気圧に変わる	

※この位置表は速報値に基づくものであり、後日確定した値を別途公表する。